

平成25年行政事業レビューシート

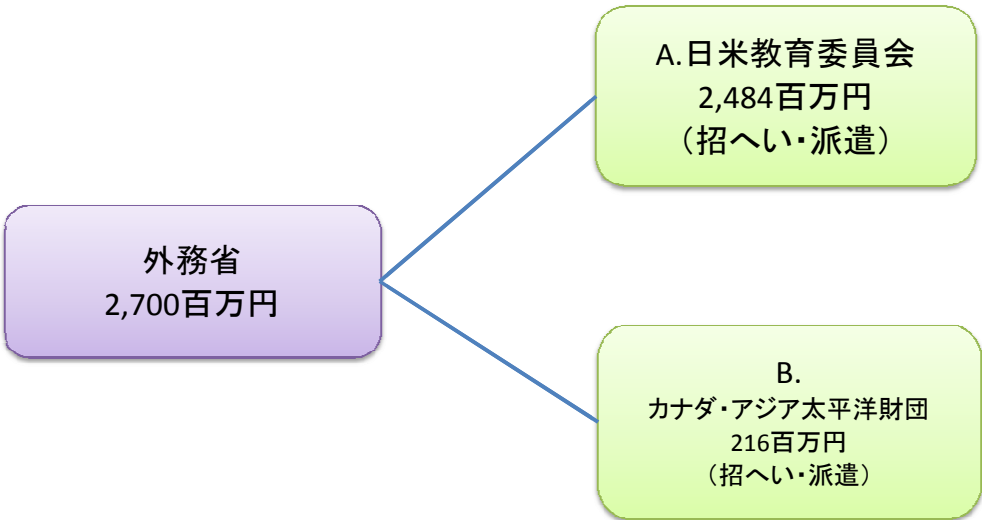
(外務省)

事業名	北米地域青少年交流拠出金（任意拠出金）	担当部局庁	北米局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度	担当課室	北米第一課	課長 吉田 朋之				
会計区分	一般会計	政策・施策名	Ⅶ－2 国際機関を通じた経済及び社会分野に係る国際貢献					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条、外務省組織令第47条	関係する計画、通知等	日本経済再生に向けた緊急経済対策					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本経済の再生に向けて、我が国に対する潜在的な関心を増進させ、訪日外国人の増加を図るとともに、クールジャパンを含めた我が国の強みや魅力等の日本ブランド、日本的な「価値」への国際理解を増進させることを目指すもの。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	北米地域(米国・カナダ)との間で約5,000名の青少年(中学生・高校生・大学生等)を招聘・派遣。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算			2,700			
		繰越し等						
		計						
	執行額				2,700			
	執行率(%)				100%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	(1)日本への再訪を希望する参加者の割合。 (2)知人に訪日を推奨したいとする参加者の割合 (共に目標は90%)		成果実績	割			(1)100% (2)98%	共に9割
			達成度	%			100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	青少年交流数		活動実績 (当初見込み)	人	-	-	-	- (5,000)
単位当たりコスト	約54万円／一人		算出根拠	招へい・派遣一人当たりの積算の平均。 27億円／5,000人				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	本件は、日本経済の再生へ向け策定された緊急経済対策の具体的な施策。最大限の経済効果が発現できるよう、関係省庁や地方自治体等とも連携するなどし、政府が迅速に推進すべき、緊急度、優先度の高い事業。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	本事業は、原則拠出先から委託を受けた実施団体(民間)が実施する(拠出先が一部事業を実施することもあり得る)が、本実施団体の選定にあたっては、十分な競争性が確保されている。 招へいを行う際のグループ人数は、費用対効果の観点から効率の良いグループ人数を算出して実施。また、類似案件の経験からより適切な日程、単価を割り出す等効率的な事業となるよう精査している。また支出可能項目は限定しており、真に必要なもののみとなっている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	招へいを行う際のグループ人数は、費用対効果の観点から効率の良いグループ人数を算出して実施。また、類似案件の経験からより適切な日程、単価を割り出す等効率的な事業となるよう精査している。また支出可能項目は限定しており、真に必要なもののみとなっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			○	外務省の招聘事業は、まだ思考が固まっていない外国の青少年を広く対象とし、将来の親日派・知日派育成の「種」を広範にまく事業。対して文部科学省の行う事業は、主として我が国における教育状況に関心のある小・中・高校生を対象とし、全国の青少年教育施設を活用し、教育機関等と連携した様々な体験に焦点をあてて活動による教育的効果の高いプログラムとすることで、将来の親日派、知日派の芽を伸ばす事業。内閣府の行う事業は、こうした裾野の広い人材育成の先にあって、中核となる我が国の青年リーダーの育成を行う事業。	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
		青少年国際交流推進事業	文部科学省スポーツ・青少年局			
点検結果		青年の船	内閣府			
	日本経済の再生へ向け、本件は、その経済効果に着目がなされ国費が投入されたものであり、政府が迅速に推進すべき事業である。また、事業は、過去に実施した事業により得られた経験、ノウハウを踏まえ、効率的に実施が進められている。類似の事業を有する省庁とは、適切な役割分担のための協議を重ねるとともに、事業をより効果的に実施するための連携、協力がなされている。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



個別事業名:北米地域青少年交流拠出金(任意拠出金)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. 日米教育委員会			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	拠出金	青少年交流事業	2,484			
	計		2,484	計		0
	B. カナダ・アジア太平洋財団			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	拠出金	青少年交流事業	216			
	計		216	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名:北米地域青少年交流拠出金(任意拠出金)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日米教育委員会	青少年交流事業	2,484	-	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	カナダ・アジア太平洋財団	青少年交流事業	216	-	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					